会 議 記 録				
会 議 の 名 称	広報広聴会議			会議場所 第3委員会室 担当職員 鈴木 智
日 時	平成27年12月18日(金曜日)		開 議 午後 3時 05 分 閉 議 午後 3時 30 分	
出席委員	福井委員長 小島(広報部会長) 馬場(広聴部会長) 三上 小川 奥村 田中 富谷 平本			
事務局出席者	藤村局長、山内次長、鈴木議事調査係長、坂田主任、池永主任			
傍聴	可	市民 1名	報道関係者 名	議員 名()

会 議 の 概 要

15 : 05

[福井委員長 開議]

1 広報部会活動

(1) 議会だより

167の編集

[小島副委員長 説明]

議会だより 167は1月31日発行、2月1日全戸配布に向け編集中である。来年1月7日、14日に広報部会を開催する。1月19日頃にゲラ版をレターケースに入れるので確認を。表紙は京都亀岡ハーフマラソンとする。特集ページは議会の仕組み、二代表制、議会に関するQ&Aとしたい。

^{アイ}
「i 広報紙」について

[小島副委員長 説明]

スマートフォンアプリである^{アイ}「i 広報紙」を広報部会で導入してはどうかという意見がある。市の「キラリ 亀岡」等は導入している。

[事務局主任説明]

^{アイ}
「i 広報紙」は、議会だより等の自治体の広報紙を読むことができるものである。一部の記事をフェイスブック等で共有でき、利用には費用は発生しない。業者は広告収入により運営しており、利用者がページを見ようとする広告が投入される仕組み。違法なものや公序良俗に違反する広告については掲載されない。運営事業者と協定書を締結しアカウント発行を経てデータをアップし運用する。全国では約250自治体が導入している。

<馬場副委員長>

広告掲載基準にある「乙」とは何か。

<事務局主任>

「甲」が自治体、「乙」が事業主である株式会社ホープである。

<馬場副委員長>

公序良俗に違反する広告が長期間投入される心配はないのか。

<事務局主任>

現時点では広告はあまりない状況で運用されている。

<奥村委員>

「^{アイ}i 広報紙」を見ていると記事のアップは比較的早い。また、広告はあまりないように思う。

<小島副委員長>

「キラリ 亀岡」等に広告は入っているのか。

<事務局主任>

「キラリ 亀岡」のみならずどこの自治体の記事にも広告は少ない状況。運営会社としては拡大に力を入れている段階だと聞いている。

<奥村委員>

多くの自治体も導入しており、よいアプリだと考える。

<小島副委員長>

「^{アイ}i 広報紙」を導入することでよいか。

全員了

<小島副委員長>

いつから配信するかは今後連絡する。

2 広聴部会活動

(1) 議会報告&わがまちトークについて

広報広聴会議所管分(11月開催)に係る意見対応

<馬場副委員長>

どのように取り扱うかご意見を。

<奥村委員>

参考でよい。

<三上委員>

この意見の主旨としては、スタジアムに関する説明を行政が実施するのか、わがまちトークとして議会が実施するのか微妙なところであると考えている。

<奥村委員>

亀岡市全体のことを考える場が必要という意見であった。

<福井委員長>

議会としては情報が少ないため、わがまちトーク等で取り扱うことは難しいのではないか。この意見は執行部に「報告」するとしてもよいと考える。

<馬場副委員長>

「報告」として取り扱うことでよいか。

全員了

次回の日程・開催場所

<馬場副委員長>

対応をお願いしたい。

3 その他

来年度の議会報告会&わがまちトークについて

< 福井委員長 >

来年度の議会報告&わがまちトークをどのように実施するかご意見を。

< 奥村委員 >

わがまちトークはこれまでと違う団体、例えば老人会、PTA等と行ってはどうか。

< 富谷委員 >

テーマを設定して「わがまちトーク」を実施したい。そうすれば議員としても答弁を準備して臨める。

< 田中委員 >

以前は事前に自治会にテーマを聞いて意見交換を実施していた。それによって議論が深まる。各種団体とわがまちトークを実施する場合、実施を希望する団体にテーマを聞いて実施するのがよい。

< 福井委員長 >

常任委員会で実施する場合との調整も必要となる。

< 馬場副委員長 >

現在は女性が外出しづらい夜の時間帯に開催しているので、参加しやすいように検討していきたい。

< 三上委員 >

おおむね各委員と同じように考えている。

< 小川委員 >

出席者数は地域によって差があるので改善できたらよい。テーマを設定して実施するのもよいと考える。

< 平本委員 >

わがまちトークを希望される場所へ行って意見を聞くのがよい。

< 福井委員長 >

これまでの意見を総合すると現行方式をやめて、自治会へ行く場合でも各種団体と実施する場合でもテーマを決めて実施するということになると思う。

< 小島副委員長 >

市長の掲げるチャレンジビジョンのテーマ等に絞って実施すればよいのではないか。それに対して市議会はどのように動いているのかも広報できる。

< 福井委員長 >

各委員の意見をまとめたものは、次回2月末に委員会を開催する際に提出し議論したい。

散会 15:30